

竹の優しい音が会場を包んだ



くすのきミュージックフェスタが2月11日、文化会館で行われました。

セタバンプーオーケストラによる手作りの竹楽器の演奏が披露された他、伊藤多喜雄さん率いるTAKiO BANDによる民謡や三井高校スポーツ健康科の生徒によるよさこいソーランが披露されました。

セタバンプーオーケストラの竹楽器の柔らかく優しい音で包まれ、そしてTAKiO BANDのアレンジされた民謡で会場は大いに盛り上がりました。また、伊藤多喜雄さんの話では笑いが会場を包みました。最後に三井高校の生徒とTAKiO BANDの共演で、よさこいソーランが披露されました。

また、セタバンプーオーケストラと児童劇団つばさがこれまでの活動が評価され、県の青少年アンビシャス運動の表彰団体に選ばれ、アクロス福岡(福岡市天神)で表彰されました。

まちの話題

健全な食生活は健全な農業から



2月7日、生涯学習センターで佐藤弘さん(西日本新聞社編集委員)による小郡市認定農業者の会研修講演会が行われました。

講演では、現在の食生活の実態を紹介し、それから生じる弊害や問題点を紹介しました。そして、知識不足などが原因で食から生じる問題を改善するためには、農業だけではなく、農業を含めた様々な点から解決策を考える必要があると訴えました。そして、最後に「体は私たちが食べるものから作られています。そのため、食に気をつけて生活すれば、健康になります。しかし、食は地域に健全な農業があってこそ実現できるのです。安全な環境づくりなど農業に健全な環境を整えていく必要があります。」と話されました。

消防団最高の栄誉を受賞

2月13日、小郡市消防団が東京の日本消防会館において第61回日本消防協会定例表彰式で特別表彰「まとい」を受章しました。

特別表彰「まとい」は、消防庁長官表彰、日本消防協会長表彰旗の受章に加えて、全国消防操法大会への出場経験、さらに設立以来の活動が特に優秀という幾多の条件を備えた消防団だけに授与されるもので、全国の消防団にとって最高の栄誉とされています。

川口大団長は、2月18日、平安市長に受章報告を行いました。平安市長は、「防災の要である小郡市消防団は、全国でも有数、一番の消防団と思っています。市民の安全を担う消防団の充実と発展を期待します。」と激励しました。川口団長は、「今回の受章を機により一層市民の安全に努めていきます。」と決意を新たにしました。

